

# タイの記者が城西病院を取材

日タイ修好 130 周年を機に日本とタイの交流を取材するため、タイの英字日刊紙、クルンテープ・トラキット紙のタッサニー・サリーポート記者が7月6日、城西病院を訪れ、タイとの交流などについて取材しました。

現在、城西病院には姉妹病院のタイ国立メーサイ病院から職員2人を視察で受け入れているほか、語学研修生や職員など計6人がおり、結城市と姉妹都市のメーサイ市から職員研修として1人が来日しています。タッサニー記者は、グループの公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（IIF）とタイ王室のメーファールワン財団との15年にわたる医療支援や交流、そして交流の輪が行政にまで広がり、結城市とメーサイ市の姉妹都市締結に至る経緯などを取材しました。

取材後、タッサニー記者は「タイの少数民族のために幅広い事業を行っていることに感謝しています。医療だけでなく、大変幅広い活動を行っているのを知り、驚き、興味深く取材することができました。タイに戻



り、この活動を新聞を通して紹介します」と話していました。

タッサニー記者は、日本全国でタイとの交流を取材し、その交流の様子をタイの紙面に掲載する予定です。



ジャンホーム・ソングムさん

メーサイ市のジャンホーム・ソングムさんが6月から8月まで、結城市に派遣され、研修を行っています。2013年から1年間、結城市で研修し、今回は、両市の交流を図るために研修に訪れています。



スチャダ・キットタイパニャウオラクンさん

1983年生まれ、薬剤師。バンコク生まれで、チュラロンコン大学修士課程を卒業。薬局のシステムなどを視察します。趣味は読書と卓球。



ワラチャボン・マノペアウさん

1982年生まれ、管理部門に勤務。メーサイ生まれで、バンコク・トンブリ大学修士課程を卒業。日本の病院の業務やシステムを視察します。趣味はフィットネス。



日タイ修好 130 周年に合わせ、IIF はメーファールワン財団との姉妹財団締結 15 周年、結城市はメーサイ市との姉妹都市締結 5 周年を記念し、11 月にタイのメーサイ市を訪問し、記念イベントの開催を予定しています。

平成 29 年 7 月 7 日



城西病院で学ぶタイの人たちと多田正毅理事長、前場文夫結城市長

## メーサイ病院から2人が視察に 7月31日まで